

## ロシア最高検察庁による千島連盟の 「望ましくない外国NGO団体」への指定を受けて

4月21日、ロシア最高検察庁が千島歯舞諸島居住者連盟を「望ましくない外国NGO団体」に指定すると発表。

この動きを受けて、道では千島連盟とともに、国に対し申し入れを行いました。

### ロシア最高検察庁による千島連盟の 「望ましくない外国NGO団体」への指定を受けて

北方墓参をはじめとする四島交流等事業は、令和2年以降実施できておらず、今もなお続くロシアによるウクライナ侵略の影響で日露関係が厳しい中、事業実施の見通しが立っておりません。

このような中で、4月21日、ロシア最高検察庁が千島歯舞諸島居住者連盟を「望ましくない外国NGO団体」に指定しました。昨年来続く、ロシア側の度重なるこうした一方的な発表は、不当で受け入れられるものではなく、元島民をはじめとする関係者の長年にわたる努力や切実な思いを損なうものであります。

道、千島連盟は、こうした発表に左右されず、北方領土問題を解決して平和条約を締結するという政府の基本方針の下、政府の方針を支え、後押しとなるよう、今後とも国民世論の喚起、四島交流等事業の推進などに取り組んでまいります。

とりわけ北方墓参や自由訪問は、元島民とその後継者にとって、自由にお墓参りをし、かつてのふるさとの地を踏みしめることができる格別の意義をもつ事業です。この3年間、元島民は望郷の念を募らせており、一日も早い事業の再開が大きな願いであります。

政府におかれましては、元島民が高齢であることを考慮いただき、その気持ちに寄り添い、日露政府間での協議や円滑な実施のための調整を進めるなど、四島交流等事業の早期再開に向けて、引き続き取り組まれるようお願いいたします。

令和5年4月25日

北海道知事 鈴木直道

公益社団法人千島歯舞諸島居住者連盟  
理事長 脇紀美夫